

最近の輸血・細胞移植をめぐって

近年、輸血関連の検査は、臨床検査全体のなかで、専門的で特殊な分野と位置付けられる傾向にあります。そこで本特集は、輸血検査から離れている方を想定し、ここ数年の進歩、考え方を学んでいただくことを目的としました。

まず、副作用を克服するために、例えば感染症のスクリーニングが強化されてきていること、副作用発生時の対処につき特に院内での体制整備が重要であること、などを解説いただきました。また、最近の在宅医療の普及に伴い輸血療法がどうなっているのか、興味ある切り口で取り上げました。輸血製剤供給機関である日本赤十字社の最近の取り組みも、知っておきたいところです。さらに、細胞移植療法というくくりでのトピックスを解説いただきました。最後に、輸血関連の各認定資格、それらを取得する実際を紹介していただきましたので、資格を目指している方は参考にしていただけたらと思います。

山田俊幸(自治医科大学臨床検査医学)